

研究分野解説

・研究概要

現在のところ金融・ファイナンスを中心に研究を行っている。具体的には、証券市場に関するデータを用いた実証分析と、企業経営者の報酬設計に関する研究を行っている。それ以外にも、社外取締役・独立取締役の選任などで注目を集めている企業の取締役会の機能と役割の検証、銀行業などの金融機関の企業統治に関する考察といったテーマも分析している。

授業のほうでは、大学院では実証ファイナンスを担当している。また、学部の科目としては、先物・オプション入門など金融・ファイナンスに関連する科目を担当している。

・研究の特徴

研究手法としては、証券市場・企業経営に関するデータを用いた分析（実証分析）を中心に行っている。このため、学生の皆さんにはミクロ経済学やマクロ経済学だけでなく、データを用いた分析にも関心をもって学習に取り組むようにしてください。

関心を持っている事項としては、我が国の経済再生に向けた成長戦略として現在進められている企業統治改革である。企業統治改革によって、日本企業はどのように変わっていくのか？また、改革によって企業業績は改善するのか？といった課題などは大変興味深く感じている。我が国の企業統治に関しては、欧米とは異なるシステムを採用してきたといわれてきた。いわゆる「日本型」といわれたシステムの強みを今後どうようにして生かしていくか？という問いについても大きな課題と感じている。